

## お盆の棚経について

毎年、お盆の期間中には檀信徒の皆様方のお宅にお邪魔をして、読経をしております。このことを棚経といいます。では、その棚経にはどんな意味があるのでしょうか。実は棚経には二つの意味があるのです。

### ○ご先祖さまへの供養

お盆にはご先祖様が帰ってきます。その為、帰ってきたご先祖様に対してお経を唱えて供養致します。これが一つ目の意味です。

### ○餓鬼への供養

お盆月は、餓鬼の世界と人間の世界とをつなぐ扉が開くといわれ、我々の世界に沢山の餓鬼が来ているのです。餓鬼とは、生前に貪り、欲深い行いを重ねたものが死後生まれ変わった存在です。仏教では生前の行いで死後六つの世界、つまり地獄界、餓鬼界、畜生界、修羅界、人間界、天界のいずれかに生まれ変わるとされています。その中の餓鬼界に存在するのが餓鬼です。餓鬼界は渴きと飢えの苦しみの世界です。何も食べることが出来ない世界です。もし食べ物が目の前にあっても、食べようとすると災に包まれて燃えて無くなってしまうのです。

そのような世界の餓鬼が人間界に来たら、まずは食べ物があんな場所集まります。その場所とはお墓なのです。近年は少なくなりましたが、迎え盆となるとたくさんのお供物を持って迎えに行きました。つまり迎え盆の墓地は供物を求める餓鬼が沢山いるのです。それだけではありません。餓鬼はさらに食べ物求めて、ご先祖様と一緒に各家々まで行って行ってしまうのです。その家に来た餓鬼を供養するのが棚経の二つ目の意味なのです。餓鬼に対する施しをする、つ

まり「せがき施餓鬼」をします。これはお経を唱える施しは勿論のこと、実は皆様方も知らず知らずのうちに餓鬼に施しをしているのです。それは「水の子」と呼ばれることが多い、ナスとキュウリを賽の目に刻み、里芋や蓮の葉にのせたお供物です。このお供物こそが餓鬼に対する施しなのです。よって、水の子は盆棚の下に隠すようにこっそり置くといった伝承が生まれます。これは、ご先祖様へのお供物と区別する意味は勿論、餓鬼は暗がりをお好むという意味もあります。

### ○棚の意味

最後に、前述した内容を踏まえて、棚経の棚の意味を考えてみたいと思います。お盆の時期に設えるご先祖様をお迎えする棚のことを「盆棚」または「しょうりょうだな精霊棚」と言います。(近年は別に棚を設けず仏壇で兼用するケースが増えていますが、それは本義ではなく略儀です)その棚の前でお経を唱えるので棚経と称するのです。また、盆棚には餓鬼に施す供物も供えるので「餓鬼棚」の意味もあるといえるでしょう。餓鬼棚の前でお経を唱えるので棚経という意味もあるのです。

### ○まとめ

棚経とは、ご先祖さまと餓鬼への供養の為にお経を唱えることです。近年は、この餓鬼への供養という一面が忘れ去られているのが現状です。お盆月には餓鬼が人間界に沢山います。寺院の年中行事でもとりわけ有名な施餓鬼会がお盆月に集中しているのは、この期間は沢山の餓鬼に施しが出来るからです。餓鬼へのお供物は前述の水の子や、お水、ご飯などでも構いません。特に水は生命の源です。餓鬼への供物と意識した上で一杯のお水をお供え致しましょう。有縁無縁隔

てなく供養する、これが仏教の精神の現れでもあるのです。

宥誠  
記